

～鹿児島県とシンガポールの更なる交流促進に向けて～

シンガポール事務所

鹿児島県とシンガポール政府は、2016年1月19日に「第18回鹿児島・シンガポール交流会議」をシンガポールで開催し、観光、文化、青少年など9項目の交流促進について合意しました。

○30年以上続く鹿児島県とシンガポールの交流

鹿児島県とシンガポール政府は、1982年に第1回鹿児島・シンガポール交流会議を開催して以来、この交流会議を核としながら30年以上にわたり幅広い交流を展開してきました。鹿児島県はシンガポール政府と定期的に交流会議を開いている唯一の日本の自治体です。

○第18回鹿児島・シンガポール交流会議の開催

今回シンガポールで開催された「第18回鹿児島・シンガポール交流会議」には、鹿児島県から伊藤知事ら7名、シンガポール側からジョセフィン・テオ外務省上級國務大臣及び政府関係者ら8名が出席し、前回の交流会議の合意事項に基づき実施された交流実績や、今後の交流計画について意見を交わしました。



意見を交わすジョセフィン・テオ外務省上級國務大臣、伊藤知事ら

当会議では鹿児島県の農畜水産物の輸出促進やシンガポール企業の県内進出・投資促進、青少年の相互派遣、芸術文化の交流など10項目の交流促進について合意し、次回交流会議は2017年度に鹿児島県で開催することを確認しました。

今年は日本・シンガポール外交樹立50周年にあたり、両国の友好関係の更なる発展の機運に合わせ、鹿児島県とシンガポールとの相互交流についても一層の促進が期待されます。

(三原所長補佐 鹿児島県派遣)